

- 東北防衛局東日本大震災五周年追悼式
- 「東北防衛局 パネルディスカッション」
～東日本大震災から5年目の今、伝えるべきこと～

東 北 防 衛 局
平成28年3月11日

東北防衛局東日本大震災五周年追悼式

追悼式では、増田義一 内閣官房知的財産推進事務局次長(当時:東北防衛局長)並びに一等陸佐 山口芳正 陸上自衛隊富士学校普通科部副部長(当時:東北防衛局防衛補佐官)の列席の下、14時46分の時刻に合わせ、全職員で黙とうを捧げ、その後、齋藤雅一東北防衛局長から「東北防衛局の全職員と共に、亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げ、また、被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈りしたい」、「被災当時、本省を始め全国の地方局、三沢市などの関係自治体などから数多くの暖かい御支援を頂きましたこと、この場を借りて厚く御礼を申し上げます」等と式辞



3月11日14時46分 全職員による黙禱



局長式辞

東日本大震災の被災地の一日も早い復興を祈念し、東北防衛局の震災対応時の写真スライドショーに合わせ、全員で復興支援ソング「花は咲く」を合唱
また、会場後方には、東日本大震災時の装備品等を展示



東日本大震災における東北防衛局の活動記録～スライドショー1



東日本大震災における東北防衛局の活動記録～スライドショー2



職員全員による「花は咲く」の大合唱1



職員全員による「花は咲く」の大合唱2



震災対応装備品等の展示1



震災対応装備品等の展示2

「東北防衛局 パネルディスカッション」

～東日本大震災から5年目の今、伝えるべきこと～

東日本大震災における東北防衛局の活動、課題・教訓を風化させることなく将来に継承することを目的として、「東日本大震災から5年目の今、伝えるべきこと」をテーマにパネルディスカッションを開催し、百名を超える職員が傾聴

増田義一内閣官房知的財産戦略推進事務局次長からの基調講話に続き、増田次長をはじめ、当時の防衛補佐官である山口芳正陸上自衛隊富士学普通科部副部長、当時本省において国際協力課長として勤務していた齋藤局長、そして震災時に各部において震災対応に従事した3名の代表職員が、震災対応未経験者が多くなった当局職員に対し、当時の活動内容や課題・教訓を語った



増田義一内閣官房知的財産戦略推進事務局次長



パネリスト(左から)の現在の職名

佐藤 憲行	東北防衛局企画部	次長
佐久間義則	東北防衛局調達部設備課	課長補佐
増田 義一	内閣官房知的財産戦略推進事務局	次長
齋藤 雅一	東北防衛局	局長
佐藤 文隆	東北防衛局三沢防衛事務所施設課	課長
山口 芳正	陸上自衛隊富士学普通科部	副部長

東北防衛局 パネルディスカッション 東日本大震災から5年目の今、伝えるべきこと



齋藤雅一 東北防衛局長

- ▶ 齋藤局長は「危機管理省庁である防衛省の一員であること、自衛隊員であることを深く自覚し、高い防災意識の下、災害に強い東北防衛局に向けたより一層の努力、自己研鑽を」と述べつつ
- ▶ 「組織を生かすも殺すも最後は『人の力』、それも『個人の力』が基本であり、『備えよ常に』を念頭に局の危機管理体制の更なる充実に取り組むことを誓う」と決意を表明



増田義一 内閣官房知的財産戦略推進事務局 次長



山口芳正 陸上自衛隊富士学普通科部 副部長

Q 今後の東北防衛局への期待は・・・

- ▶ 増田義一 次長
自衛隊員であることを強く認識し、想定されるあらゆる事態への準備を行うておくことが肝要。
- ▶ 山口芳正 副部長
平素からの陸海空自衛隊、米軍、自治体との連携、そして地方防衛局内の各部所の相互連携を強化することが大切。



会場の様子



会場からの体験報告



会場からの質問



各部代表パネリスト(左から佐藤企画部次長、佐久間設備課課長補佐、佐藤三沢防衛事務所施設課長)

